

ダニ

ダニの話は2題。最初は**タカサゴキララマダニ**(高砂綺羅々真蜱)。マダニ科キララマダニ属に属する大型のマダニで日本では関東以南に生息する。3宿主性で、幼若期は中・小型の哺乳類や鳥類に寄生する。成虫はイノシシやシカなどに宿主を変える。幼虫～成虫のいずれも人間への寄生例が多くみられる。これまでに、何らかの病原体を媒介する可能性が指摘されているとされるが、どうとう被害者が出た(※1)。

2013年9月18日、その日はカメラを担いで一人山を歩いてきた。帰宅して家に入ったとき「お父さん、ズボンに何か付いている」との娘の声に左足の膝部分をみるとズボンに大きな数ミリもあるダニがしがみついているではないか。ティッシュで掴んで剥がすと「ベリベリ」と音がした(気のせい?)のような気がする。逃げ出さないように、慎重にガムテープの上に乗せて撮ったのがこの写真である。彼の名前はタカサゴキララマダニ。いかにもおめでたそうな名前だが・・・



実は前日も天城山中を長靴(マムシやダニにの対策)で歩き回っている。この日に取り付いたのか、今日付いたのか不明だが身近にもいることは身をもって納得できた次第である。

(※1)2013年5月24日の読売新聞によると以下のとおり。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に感染した山口県内の60歳代の女性に付着していたタカサゴキララマダニから、SFTSウイルスが検出されたことがわかった。関東以西に広く生息するマダニ。同ウイルスを保有するマダニが確認されたのは国内初。

山口県によると、女性は4月、国立病院機構岩国医療センター(山口県岩国市)に救急搬送さ

れ、右腕の皮膚下から体長約3ミリのマダニが見つかった。国立感染症研究所(東京)に送ったところ、タカサゴキラマダニと判明。個体から同ウイルスが検出された。女性は一時、呼吸不全に陥ったが、既に退院している。

同ウイルスの感染者は1月に国内で初めて確認され、今月17日までに15人が感染し、うち8人が死亡。発症すると発熱などの症状が出るが、有効な治療法は確立されていない。

NHKwebニュース 2014年2月25日 17時04分によると

【マダニ媒介するウイルス 30道府県で確認】

マダニが媒介するウイルスによる感染症が、西日本を中心に相次いで確認され、その後、同ウイルスが北海道や東北地方のマダニからも見つかったことが厚生労働省の研究班の調査で分かったことから、厚生労働省は、ウイルスが国内に広く分布している可能性があるとして注意を呼びかけている。

マダニが媒介するウイルスによる感染症、SFTS＝「重症熱性血小板減少症候群」は、去年1月、国内で初めて感染が確認され、これまでに九州、中国、四国、近畿の13の県で53人が感染し、このうち21人が死亡している。厚生労働省の研究班は、これまでに調査を終えた北海道や岩手、宮城を含む23の道府県のマダニからウイルスが見つかったという。

このほか福岡や富山などの3県でも、野山にいるシカなどからウイルスに感染したことを示す抗体が見つかっており、合わせて30の道府県で患者やウイルスが確認されたことになる。

ーダニの話その2ーヨツボシモンシテムシ

シテムシは、漢字では「死出虫」、「埋葬虫」などと書くが、その名が示すとおり動物の死体に集まり、もっぱら死体を餌としている虫である。言い換えれば掃除やさんで自然を美しく保つ影の功労者で褒められる存在である。その中に目だった色のヨツボシモンシテムシという種類がある。比較的一般的な種類であるが、2013年9月10日、私の足元に舞い降りた。というよりも墜落した。近づいて見るとなんと頭がボコボコである。シテムシが動物の死体についていたダニを背負ってきたのだ。17～18匹いる。



ダニの名前は分からないが、シテムシを宿主として選んだわけではなかろう。では、シテムシに乗

れば次の宿主に移動できると考えたのか？所詮シデムシの移動先は死んだ動物だからダニの生活場所とはなり得ないが、ダニのついているシデムシは時おり見かけるので、たいそう珍しい光景ではない。墜落したヨツボシモンシデムシは再び飛び立っていった。

マダニは夏に1千~2千個程度を産卵し、秋に個体数が多くなるので秋はいつそうの注意が必要。皮膚の軟らかな部分を選び、口を突き刺し、長い場合は1週間以上、血を吸うそうである。体に付着したダニを無理に引き剥がすと、口の部分がちぎれて皮膚に残ったり、ダニの体液が体に逆流することもあるので、皮膚科を受診する必要がある。とのこと。

山中に行くときは肌の露出部分を少なくして付着したダニを見つけやすい白っぽい衣服を着用するなどの注意を心がけたい。また、ダニをよせつけないためには、肌の露出部分や服にDEET(ディート)などの有効成分が含まれた虫除け剤の使用が有効だそうである。